

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ドダイ				公表日	R8 年 6 月 30 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>十分なスペースを確保している。</li> <li>スペースが十分に確保されている。</li> <li>身体運動の際は部屋を移動しお子さんの動きに支障のない環境を整えてる</li> <li>部屋数がおおく、人数の分散がしやすい。</li> <li>1.2階・庭など好きな場所で遊べるようにしている。</li> </ul>	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>こどもの人数、状態、活動内容に応じて配置している。</li> <li>こどもを多くの目でみることができている。</li> <li>国の規定に従っている。</li> <li>多めになっている。</li> <li>1対1のかかわりがしやすい。(少人数のため)</li> </ul>	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>登所からのスケジュールをホワイトボードに提示している。必要に応じて視覚支援ツールを使用したり、危ない所に目印をつけて安全に配慮している</li> <li>各部屋が目的に合わせて分かれており、わかりやすい環境である。</li> <li>ホワイトボードにおめめどうのツールを使用して視覚支援にも力をいれている。</li> </ul>	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>配慮している。毎日の掃除や空気清浄機を使用している。</li> <li>0歳からのお子さんも安心して過ごせるよう、畳やジョイントマットをしいて対応している。</li> <li>毎日の掃除、消毒など行っている。</li> <li>各へやの掃除は徹底している。各部屋で何をやるかなのかは伝えていて目でみてわかるようにしている。</li> </ul>	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>畳の部屋を利用し、静かな空間で過ごせるように環境整備している。</li> <li>部屋数が多く、こどもの様子に合わせて、随時個別に対応できている。</li> <li>すきな場所で過ごせるようにしている。</li> <li>部屋数が多く、環境が作りやすい。</li> </ul>	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>参画している。</li> <li>ミーティングやモニタリング会議等で意見を出し合っている。</li> <li>話し合いながら継続的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PDCAサイクルを用いて業務改善を進める機会を持つことができていない</li> </ul>
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者からの意向を改善に繋げるよう努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回が初めてのため。</li> <li>今回がはじめてなので、今年度より、公開するため。</li> </ul>
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の療育を振り返るミーティングやモニタリングの会議等で意見を出しあっている。</li> <li>職員会議を定期的に設けている。</li> <li>意見を出し合う機会が常にある。</li> <li>常に声をだし、話し合いができています。</li> </ul>	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者がいいため、今後検討する予定。</li> <li>第三者委員会なし。</li> <li>第三者による外部評価をしていない。</li> </ul>
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修に参加している。</li> <li>視覚支援研修動画等、過去の研修も閲覧する時間を確保できている。</li> <li>内外ともおこなっている。</li> <li>おめめどうの研修を受けて、支援している。</li> </ul>	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPに公開されている。</li> <li>HPで公表している。</li> </ul>	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援の評価を行い、会議内で意見を出し合い、分析し作成している。</li> <li>会議を行って分析し、作成している。</li> <li>子どもの能力、適正、年齢に合わせた支援を個別に行っている。</li> <li>全職員に話を聞き、アセスメントしている。それを計画に反映させている</li> </ul>	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議内で職員同士で話し合いをしている。</li> <li>ケース検討会議や日々の話し合いで、共通理解している。</li> <li>しっかりとケース会議を行い、話し合っている。</li> </ul>	

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回覧し、内容を確認している。</li> <li>・いつでも閲覧することができ、計画に沿って支援している。</li> <li>・すぐに話し合いができるような体制になっている。</li> <li>・職員間で共有しながら計画し、支援を行っている。</li> <li>・共有しながらいつでも見返せるようにしている。</li> </ul>		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚支援ツールを使用している。</li> <li>・視覚支援ツールを活用している。</li> </ul>		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援ガイドラインに基づき、支援内容を設定している。</li> <li>・職員で検討し、支援内容を設定している。</li> <li>・子どもの適正に応じてできる支援をおこなっている。</li> <li>・利用しているこどもの適正に応じ、できる支援をおこなっている。</li> </ul>		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議を開き、話し合っている。</li> <li>・話し合いの上で立案している。</li> <li>・その都度思いついた案を職員間で共有するようにしている。</li> <li>・全員での話し合いが難しいが立案して、共有しながら計画をしている。</li> <li>・担当を決め、そこからチームでおこなっている。</li> </ul>		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な活動プログラムを組み立てている。</li> <li>・意見を出し合い、固定化しないように話し合っている。</li> <li>・各々職員が様々なアイデアを出しながらおこなっている。</li> </ul>		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小集団、個別活動をバランス良く取り入れ、子どもたちの様子をみながら適宜活動の組み合わせを工夫している。</li> <li>・無理なく参加できるよう、計画し支援している。</li> <li>・こどもたちの状況に応じて個、集団と1日1日組み合わせ支援できている</li> <li>・子どもに合わせた活動を考え、計画に沿って支援している。</li> <li>・こどもの状況に合わせて支援している。</li> </ul>		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携して支援にあたっている。</li> <li>・情報共有を行い、その日の支援を確認している。</li> <li>・口頭での伝達や前日などに話し合って共有し、チームで支援している。</li> <li>・話し合いができています。</li> </ul>		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日の支援について振り返り、気づきを共有し明日へ繋げている。</li> <li>・報告しあい、情報共有している。</li> <li>・情報共有をし、次の支援につなげている。</li> <li>・その日の振り返りやこどもの様子を伝え合うことはできている。</li> </ul>		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース記録を入力している。</li> <li>・ケース記録を作成し、日々検討をおこなっている。</li> <li>・メイプル日誌を活用し、記録をとっている。</li> </ul>		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース検討会議で見直している。</li> <li>・見直しを行い、良い支援を目指している。</li> <li>・モニタリングを定期的に行い、支援内容の見直しについて職員で検討している。</li> <li>・その子の状況に合わせて見直しを行っている。</li> </ul>		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業所・園と情報共有し支援の共有を図っている。</li> <li>・基本は、児発管だが、状況に応じて支援者も参画している。</li> </ul>		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所等と連携して支援を行っている。</li> </ul>		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて情報共有は行っている。</li> <li>・保育園の先生方の見学で連携をつなげていく。</li> <li>・施設見学、情報交換等で相互理解を図っている。</li> <li>・情報共有できている。</li> </ul>		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管は入学支援ファイルを作成し、共有している。</li> <li>・「入学支援ファイル」を活用して、情報共有を行っている。</li> <li>・情報共有できている。</li> </ul>		
	関係	(28~30は、センターのみ回答)					

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3	・研修に参加している。		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	・時折アソビバと交流を持つ機会をつくっている。	・他園との交流はおこなっていない。 ・公園等では、一緒に遊ぶことあり。 ・R7年度できていない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・アプリを使い、連絡帳を通して伝え合っている。 ・連絡帳やラインで伝え合い、共通理解に努めている。 ・送迎時、連絡帳も活用して保護者に伝えている。 ・ラインやメイブル日誌にて状況を伝え合っている。 ・お迎えの時やラインでやり取りをしている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	・必要に応じて、情報提供の機会を設けている。 ・対応などについて話をしている。	・ベアトレの必要性は感じますが、相談を受けた際には、個別に対応しています。 ・R7年度はできていない。今後負担のない範囲で行ってきたい。		
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・児発管が契約時に、十分時間をとり、説明をしています。 ・適宜説明している。 ・契約時にはなしている。 ・契約時に責任者が説明している。		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・相談員、保護者と担当者会議をして話をしている。 ・フェースシート等で確認し作成している。 ・面談をおこなっている。		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	・説明をし、同意を得ている。 ・保護者に支援内容を詳しく説明を行い、同意を得ている。 ・契約時に責任者が説明をしている。 ・対面で説明している。		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・ラインやメイブル等直接でのやりとりを通じて支援を行っている。 ・連絡帳やラインで随時対応している。 ・ライン、連絡帳、送迎時に口頭で話を伺い、助言できるようにしている。 ・常にラインのやり取りをしている。 ・送迎時やラインでやり取りしている。		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3	・年1回保護者交流会を行っている。 ・保護者交流会を行っている。	・R7年度は秋に開催したが参加者がいなかった。参加しやすいように今後計画を立てていく。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・送迎に関しては可能な限り、ルート調整をし、送迎場所、時間の対応をしている。 ・適切に対応している。 ・ラインにて相談に応じたり、面談をしている。 ・送迎時やラインまたは、保護者が利用児と一緒に来所したときに行っている。		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・インスタ、HPを活用して月に数回、支援の様子を発信している。 ・インスタやHP、ラインで情報を伝達している。 ・R7年度秋よりインスタ、活動の中の写真をラインで情報共有している。		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・保管や、取り扱いに十分留意している。 ・個人情報の取り扱いには、注意している。 ・留意しながらおこなっている。		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・ラインや口頭では情報の伝達を行っている。子どもたちには、口頭や絵カードで伝達を行っている。 ・視覚支援ツールを用いている。 ・絵カード等声掛けと共に、視覚支援を行うなど特性に応じて配慮している		

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	・イベントでは、子どもたちと手作りクッキーをつくり、地域の方々に配ったり、また、散歩の時に挨拶している。	・R7年度に開所したためできていない。今後無理や負担のない範囲でおこなっていく。 ・今後行っていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・各マニュアルを周知し、訓練を行っている。 ・定期的に研修、訓練を行っている。 ・職員に周知、訓練している。 ・玄関に掲示している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・定期的に訓練している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・事前に把握し、情報共有をしている。 ・職員で情報共有をしている。 ・確認している。→全体にも共有している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・現在いませんが、対応できるようになっています。 ・保護者からの情報提供していただいたものを連絡ノートやミーティングで情報共有している。 ・今はアレルギー児なし。	・児童発達支援利用者にアレルギー児がいないため。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・安全管理は十分されている。 ・日々安全管理に努めている。 ・R7年度は秋、冬（春）に訓練を行った。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・安全対策で、避難場所を入所時に保護者に伝えている。 ・年に数回確認している。 ・周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・回覧できるようになっており、その都度話し合い、検討している。 ・その都度話し合い、共有しています。 ・ヒヤリハットがあったときには、記録に残し、全体共有し再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・オンライン研修をおこなっている。 ・虐待防止の会議を行っている。 ・内外での研修をしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	・現在、身体拘束について該当者はいないが、研修は行っている。 ・委員会を開催し、話し合いを行っている。 ・今の所、身体拘束なし。事前の説明は行っている。 ・ジュニアシート、チャイルドシートは使っているが、身体拘束対象なし。	